

# 本機の特長と楽しみかた

## 本機の特長

### ■ 地上デジタル放送に対応\*1

地上デジタル放送を高画質・高音質に楽しむ。

※1：本機には電話通信機能が無いため、双方向データサービスに対応していません。

### ■ ワンセグに対応\*2

従来の地上デジタルテレビ放送に加え、ワンセグにも対応。

また、地上デジタルテレビ放送↔ワンセグへの自動切り換えまたは手動切り換えにより、受信エリアが拡大します。(2008年までは、サイマル放送が運用される予定です。)

※2：「ワンセグ」の番組は、地上デジタルテレビ放送と同じものですが、あくまで携帯端末のような小画面を対象とした簡易動画です。ハイビジョンではありません。その為、お使いの車載用モニターでの表示画質が地上デジタルテレビ放送とワンセグでは、大きく異なります。本機は、ワンセグのデータ放送と字幕には対応していません。

### ■ ホーム/おでかけモード

いつも見ている番組がおでかけ先でも、いつもと同じチャンネルで視聴できます。(放送局によっては、放送日時の変更および地区独自の番組を行っている場合があります。)

(☞ 24～27ページ)

### ■ 本格的5.1chサラウンドシステムに対応

システムアップ\*3で地上デジタルテレビ放送でのAAC5.1chサラウンドに対応。

(☞ 36、37ページ)

※3：別売のカーナビゲーションシステムやサラウンドスピーカーシステムが必要です。

## 地上デジタル

- UHF帯の電波を使って行う放送で、関東・中京・近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは当初限定されていますが、順次拡大される予定です。高品質の映像と音声、更にデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。(2006年3月現在)

## ワンセグ

		1チャンネル (13セグメント)												
地上デジタル放送		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
地上デジタル	(HDTV放送時)													
テレビ放送	(SDTV放送時)													
ワンセグ														

- 「ワンセグ」とは、携帯電話など移動体端末向け地上デジタル放送サービスの名称です。地上デジタル放送では、1チャンネルの周波数帯域を13セグメント(区分)に分割し、そのうち12セグメントを使って据え置き型テレビ向けにハイビジョン放送や多チャンネル放送を行っています。当初から移動体向けの放送も予定されており、残りの1セグメントを使うため、このように命名されました。

## デジタル放送を楽しむ

(☞ 42～51ページ)

**B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。(☞ 18ページ)**

デジタル放送は、従来の地上アナログ放送(VHF、UHF)やBSアナログ放送と違い、映像や音声をデジタル化することで、高画質な映像や多チャンネルの番組を楽しむことができます。

- 本機は、地上デジタルチューナーです。地上デジタルアンテナを接続してからテレビやモニターに接続すれば、地上デジタル放送が視聴できます。

## 番組表を使う

(☞ 44、45ページ)

本機の画面上に番組を新聞のテレビ欄のように一覧表示します。(地上デジタルテレビ放送は最大8日分、ワンセグは最大10番組)

- 番組表から今、放送中の番組の選局ができます。
- 地上デジタルの番組情報は地上デジタル放送と一緒に送られています。

### ● データ放送

本機の画面の説明に従い操作すると、関連するデータを表示できる番組があります。尚、本機には電話通信機能が無いため、双方向データサービスに対応していません。